



衣食足りて礼節を知る (2000 数百年前の素封家たち)

3 月③のごあいさつ

山内公認会計士事務所

2022 年 3 月 21 日(月)

司馬遷は史記の中において、“政治というものは、人民のあるがままの欲望に従って行うのが最上であり、その次は利益をもって導くことであり、その次は道徳をもって導くことであり、その次は統制をもって導くことであり、最下等**は人民と喧嘩することである**”と言っている。自由主義経済が、社会も人民も幸福にし、3000 年の昔から、それが一番だということである。

そして、司馬遷はおよそ**人間の行動は経済的動機で説明することができる**としている。中国の物産・交通・貿易を論じ、この時代において既に**経済地理学の原理**を理解していた。

孔子の 70 人余りの弟子の中で子貢は、物資の思惑買いによって大きな利益を得て、最も豊かであった。

立派な馬車を仕立て、たくさんの贈物を乗せ、列国の諸侯と交際した。

孔子の名が、天下にとどろいたというのも、金持になった子貢によるところが大である。孔子でさえ裕福な弟子の経済力によってその名が天下に伝わったのであり、**社会生活の基礎は経済であると司馬遷は言っている**。

そして、史記の貨殖列伝の中で当時の大富豪を何人か紹介している。

宣曲の任氏の祖先は、穀物倉庫の役人であった。

秦が滅びた時、世間の人**は持って逃げるのに便利な金などを買い込んだのに、任氏は倉に米を買い込んだ**。

楚と漢の戦争になり、農民は耕作することができず、米の価格はうなぎのぼりに高騰した。人々は**買い込んだ金で米を買わねばならず、金は任氏のところへ転がり込んだ**。

任氏は大金持ちになったが、世間の思惑を気にせず節約に励み、相変わらず農業牧畜にいそしんだ。

白圭は周の人である。相場の変動を利用する術を編み出した。

世人が売り急ぐときは**買いにまわり、買いあさる時には売りに出す**のである。穀物の収穫期には、穀物を買って生糸を売りに出し、絹や真綿の出回る時期にはこれを**買い入れて、穀物を売りに出した**。

その一方、**機を見て利を追う**すばしこさは、まるで豹か鷹のようであった。

私が商売をやるのは、「太公望が政治をとり、孫子・呉子が軍を指揮するのとなんら変わらない。臨機応変の知恵も決断も**勇気も情愛も忍耐力**もない者は、私の術を学ぶ資格はない。」と言っている。

参考：史記(貨殖列伝)、司馬遷史記(徳間書店)